

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/05/25号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



反落、イラン和平への期待が再浮上

NY原油先物相場は、1バレル=105ドル水準で上げ一服となり、90ドル台中盤まで反落した。米国とイランの和平合意に対する期待感が後退したことで100ドル台中盤まで切り返していたが、改めて和平合意に対する期待感が高まり、100ドル割れの軟調地合になった。トランプ米大統領は5月20日、イラン情勢は「最終段階」にあると発言している。合意に至らなければ再び攻撃を行うと警告しているが、マーケットでは和平合意の可能性が高まっているとの見方が優勢だった。ルビオ米國務長官は22日、「わずかな進展」があったと報告している。ただし、イランの核問題やホルムズ海峡の船舶通航の問題に関しては、まだ意見の隔たりがあることを認めている。

国際エネルギー機関（IEA）ピロル事務局長は、7～8月に原油市場が「危険水域」に突入する可能性を警告した。夏の燃料需要のピークを迎える一方、中東からの輸出量が不足していること、在庫の取り崩しが続いていることについて、注意喚起を行っている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月15日時点）は、原油が前週786万バレル減、ガソリンが155万バレル減、石油精製品が37万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

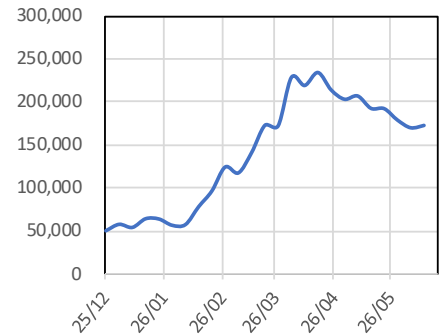
【展望】

イラン情勢次第の展開が続く、和平合意に向かえば軟調

イラン情勢に強く依存する展開が続く。米国とイランの和平合意への期待が高まれば売られ、逆に和平合意への期待が後退すれば買われる展開になる。米国やイランの要人発言、メディアの報道に一喜一憂する投機色の強い展開が続いている。前週は和平合意への期待感を織り込む形で改めて100ドルを割り込んだが、今後、米国とイランの歩み寄りが見られ、和平合意に対する期待感が高まると、80ドル台に値位置を切り下げる展開になろう。サウジアラビアやUAEなど湾岸諸国からは、紛争のさらなる長期化を回避するための圧力も強くなっており、いずれ和平合意が実現するとの見方は強い。NYMEX原油先物市場では、大口投機筋が4月上旬から段階的に売りポジションを積み増ししていることにも注目したい。チャート上では、上値が切り下がる一方、下値が切り上がる三角保ち合いを形成しているだけに、トレンドフォローの売りが膨らむかも焦点になる。

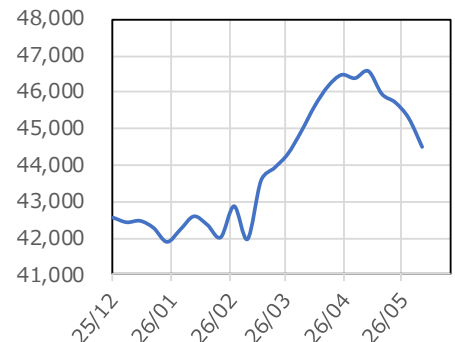
こうした楽観的な見方は何度も浮上しては失望に変わっている。今回はイランの回答に対してトランプ米大統領が「全く受け入れられない」と発言したことで、ホルムズ海峡の封鎖が長期化するとの見方が強まり、原油相場は88.66ドル（5月6日）から106.00ドル（5月15日）まで切り返す展開を経験したばかりだ。ただし、トランプ米大統領は5月23日、合意がほぼ成立し、近日中に最終的な内容を発表する予定と自身のSNSに投稿している。この通りの結果になれば、ホルムズ海峡の流通障害も解消に向かい、原油相場は上げ一服感から調整売り優勢の展開になろう。米国とイランの最終調整を巡って混乱がみられるかが焦点になる。その先は、最近の在庫急減で高止まりするのか、最悪期は脱したとの評価から値下がりが進むのかにテーマがシフトしていく見通しだ。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



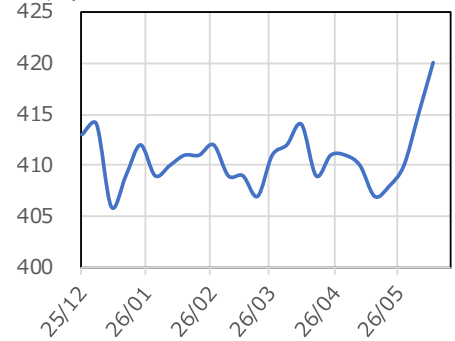
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

